

# 教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

## 1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

## 2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように  
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

## 3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

## 4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 教会教育部

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。  
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

# 教師ノート

週課	第二年 第五課 第一週
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊の約束
タイトル	約束の聖霊
テキスト	ヨハネ14:16-18、26、15:26、16:8、使徒1:8
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ14:16 or 使徒1:8
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 1 巻 3 題 8 課、小上 3 巻 1 題 2 課、中 1 巻 2 題 4 課
□導入	<p>イエス様は天に帰られる時、弟子たちにすばらしい約束をされました。それは「聖霊を与えよう」ということでした。今日、私たちは聖霊について3つのことを学びたいと思います。聖霊は私たちを助けるためにおくられた方であり、また私たちが受け入れるならば、私たちの内に住んで下さるお方なのです。</p>
□ポイント1 約束の聖霊は助け主です (ヨハネ14:16)	<p>イエス様は十字架にかけられる前、とても大切なことを弟子たちに語られました。それは、ご自分が天に帰ったならば、「もう一人の助け主」をおくと約束されたのです。この助け主とは「聖霊」のことです。</p> <p>たとえば、道路で倒れて困っている人がいたとします。いまならば119番に電話をすると、救急車が来て、助けてもらえます。助けを求めている人を助けるために、救急隊員はすぐに来てくれるのです。このように聖霊は、わたしたちが助けを必要としている時に助けて下さる『助け主』だということです。</p> <p>また、裁判の時にその弁護をしてもらうため、弁護士が必要です。自分だけではとても大変だからです。弁護士は自分のことを、いろいろな角度から弁護して助けてくれるのです。それと同じように聖霊は、わたしたちが大変な時に弁護をして下さる『助け主』だということです。</p> <p>またわたしたちが、落ち込んだ時や、苦しみの時、悲しい時にいつも励ましたり慰めたりして、わたしたちの相談にのって助けて下さる『助け主』なのです。</p> <p>聖霊はいつもあなたの「そばにいて助けて下さるお方」です。</p>
□ポイント2 約束の聖霊は真理を教えてください (ヨハネ14:17)	<p>イエス様は助け主である聖霊を「真理の御霊」とも呼ばれました。真理の御霊は、イエス様の語られた言葉や、聖書の言葉の意味をわからせてくれます。</p> <p>いままでずっと考えてもわからなかった聖書のことがわかるという経験ができます。聖霊は聖書を教えてください、最高の先生です。</p> <p>また、真理の御霊は、わたしたちと神様との正しい関係について教えてください、わたしたちの心の目を開いてくださいます。そして神様を抜きにして物事を考えてしまう、自分中心的な考え方を悔い改めさせてくださいます。そして神様を中心にした考え方を教えてください、導き入れてくださるのです。</p> <p>神様を中心と考えずに、自分中心に考えることを罪といいます。聖霊はこの罪をわたしたちに示し、思いをかえさせてくださいます。そしてイエスキリストの十字架の血による赦しを信じる信仰へと導いてくださるのです。</p>

### □ポイント3 約束の聖霊は力を与えて下さいます(使徒1:8)

使徒1:8「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける」とあります。聖霊が臨まれる時、力を受けて、わたしたちは復活の主の証人となる。というのです。力が与えられるというのはどういうことでしょうか？

ひとつのお話を聞いて下さい。

あるところに、真理子ちゃんという小学生の女の子がいました。真理子ちゃんには敬子ちゃんという、仲良しのお友達がいました。

ある日、真理子ちゃんと敬子ちゃんはブランコに座って話をしていました。真理子ちゃんは『自分がイエス様を信じていることを話したい』と思いましたが、笑われるのではないかと考えてやめてしまいました。一日、二日、三日とたちました。真理子ちゃんは、まだ敬子ちゃんにイエス様の事を話していません。

そこである日曜日、真理子ちゃんは日曜学校の先生に言いました。「先生、私はお友だちにイエス様の事をお話したくて仕方がないのです。でもいつも、いざとなると、こわくなってしまいます」。すると先生は「もし、あなたがイエス様に聖霊のバプテスマを下さいとお祈りするなら、神様は聖霊を下さいます。そうすれば、イエス様のお話をするのがこわくなくなるでしょう。聖霊は、あなたがもっとイエス様を愛することが出来るようにして下さいますから、イエス様の事をもっと人々に話したくなるでしょう。そして楽しくお話出来るようになるでしょう」と答えられました。

真理子ちゃんはイエス様にお祈りして、聖霊のバプテスマを下さいと一生けんめい求めました。神様は真理子ちゃんに聖霊を与えて下さいました。真理子さんは敬子ちゃんにイエス様のお話をしました。それはむずかしい事ではありませんでした。聖霊が助けて下さったからです。

### 結論 イエス様は約束の聖霊を与えて下さいます

#### 適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. わたしたちは、イエス様が約束して下さいました聖霊を待ち望む必要があります。もし、まだ聖霊に満たされていないならば、主が聖霊のバプテスマを与えて下さるので、熱心に主を待ち望む決心をしましょう。

2. すでに聖霊のバプテスマを受けているお友達は、いつも聖霊に満たされ続けるように、イエス様に求めていきましょう。

# 教師ノート

週課	第二年 第五課 第二週
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊のバプテスマ
タイトル	ペンテコステ
テキスト	使徒2:1-13
参照箇所	使徒2:14-42、マタイ3:11、マタイ28:16-20、ルカ11:9-13、ヨハネ7:14-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒1:8
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 1 巻 3 題 8 課、小上 3 巻 1 題 2 課、中 1 巻 2 題 4 課、中 3 巻 2 題 6 課
□導入	<p>復活されたイエス様は、天にお帰りになる前、弟子たちに約束をなさいました。それは「聖霊があなたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます」というものでした。</p> <p>この約束はユダヤ人の祭りの日に、かなえられました。いったいどんなことがおきたのでしょうか？聖書からみていきましょう。</p>
□ポイント1 弟子たちは集まって祈っていました	<p>イエス様が天にお帰りになった日から、弟子たちは、エルサレムで泊まっていた家の二階の部屋で、こころを合わせて祈っていました。弟子たちはイエス様が約束なさったことを信じて、待っていたのです。</p>
□ポイント2 弟子たちに聖霊がくだりました	<p>ちょうどユダヤの人たちの『五旬節』という春の収穫祭の日のことでした。このお祭りは、過越しの祭りから数えて五十日目のお祭りで、ギリシャ語では『ペンテコステ』と言います。ユダヤでは三大祭りの一つです。他の国に住んでいたユダヤ人たちも、この祭りのために大勢エルサレムに帰ってきていました。</p> <p>弟子たちは、この日もいつものように一つになってお祈りをしていました。</p> <p>突然でした、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、弟子たちの座っていた家全体に響きわたりました。そして、舌のようなものが、炎のように分かれて現れ、弟子たち一人一人の上にとどまりました。するとどうでしょう。そこにいたすべての人が聖霊に満たされ、聖霊の導かれるままに、ほかの国のことばで話したのです。</p> <p>これは聖霊のバプテスマを受けたことを示す神様のしるしでした。</p>
□ポイント3 人々はビックリしました	<p>この時エルサレムには、お祭りの最中でしたから、他の国からもたくさんの人たちが帰ってきていました。彼らは大きな物音がしたのでみんな集まってきました。</p> <p>「いったい何がおきたんだ？」と弟子たちのいる家に集まってきたのです。</p> <p>するとどうでしょう、イエス様の弟子たちが、他の国の言葉で神様を賛美していました。外国から帰ってきていたユダヤ人は、それを聞いてあつけにとられました。そして驚き怪しんで言いました。</p> <p>「これはいったいどういうことだろう。いま話している人たちはみんな、ガリラヤから来た人たちではないか、彼らに外国語が話せるわけがない。それなのに、私たちがそれぞれ使っていることばで話している。」</p> <p>「私たちの中には、それこそ、いろいろなところから人が集まっているのに、彼らはユダヤ以外のそれぞれの国の言葉で、神様についてすばらしいことを話している。」</p> <p>「いったい何が起きているんだろう。」「なんでこんなことがあるんだろう。」</p> <p>みんなは驚いて互いに言い合いました。</p>

しかし、ある人たちはバカにして言いました。「あの人たちは、ぶどう酒でも飲んで酔っ払ってるんじゃないのか」

しかし、弟子たちは、ぶどう酒を飲んで酔っていたわけではありません。また、でたらめなことばを話していたのでもありませんでした。

それぞれの国のことばで、神様の大きな働きを話していたのです。

□結論 イエス様の約束どおりに聖霊が与えられました

イエス様は、天にお帰りになる前、弟子たちに約束をなさいました。それは「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます」という約束でした。

イエス様が約束なさった聖霊が、弟子たちにこのような力を与えました。また弟子たちに、「聖霊が臨まれる」ということがはっきりとわかるように、このようなしるしが与えられたのです。

イエス様の約束には「力を受けます」とありますが続きがあります。それは「エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」です。

弟子たちは、大きな力を神様から頂いて、このあとイエス様のことを、大胆に多くの人たちに伝えるようになるのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様は約束を必ず守られるお方です。もし今日のお話しの弟子たちのように、聖霊を求めて待ち望むなら、神様はみんなに聖霊を与えて満たして下さいます。あなたもお祈りをしませんか？

※ペンテコステの礼拝です。今日はいつもの礼拝よりもお祈りの時間を長くとってみましょう。

👉メッセンジャーが理解しておくこと

- ・異言は聖霊のバプテスマの証拠です。つまり異言が目的ではなく、聖霊に満たされることが目的です。
- ・神さまの導きを感じたら、恐れずに聖霊を待ち望む祈りをしましょう(強制的にはなく)。
- ・小学生も聖霊のバプテスマを受けることができます。

1. かならず牧師先生にいっしょに祈っていただきましょう。

2. 異言をともなう聖霊のバプテスマを受けた人には、聖霊に満たされて日々祈り続けること、御霊の実を結ぶことの重要性などを伝えましょう。

3. 聖霊のバプテスマを求めて祈ったけれど、異言で祈れなかった人には、聖霊に満たされることが目的であることを伝えましょう。イエスさまを信じたとき、すでに聖霊は内に住んでくださっているのです(1コリント12章、使徒19章)。あきらめずに祈りましょう。

4. 聖霊のバプテスマを求めて祈ることができない人には、その理由を確かめフォローしましょう。

例: 異言のことがよくわからない、聖霊に助けてもらいたいと思わない、怖い・気持ち悪い・・・など。

# 教師ノート

週課 第二年 第五課 第三週

単元 ペンテコステ

テーマ 教会の誕生

タイトル 教会の誕生

テキスト 使徒2:14-47

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

使徒2:41

AG 日曜学校教案参照箇所

中1巻2題6課 幼1巻3題8課

## □導入

みなさんに質問があります。みなさんの誕生日はいつですか？

次の質問です。では、イエス様の誕生日はいつでしょうか？

それでは、もう一つ質問です。教会の誕生日は、いつだか知っていますか？

今日のお話しは、教会の誕生日についてのお話しです。

## □ポイント1 ペテロさんは神様について大胆に話しました

先週のお話は、イエス様が天にお帰りになってから、約束通りに聖霊が与えられた。というお話しでした。

イエス様が十字架にかけられた時、弟子たちはどうしていたのか、みなさん覚えていますか？弟子たちは自分も捕まるかもしれない。と思ってビクビクしていました。

しかし、聖霊が与えられると弟子たちはかえられます。いままではビクビクしていたのに、それが大胆に神様のことを話せるようになったのです。

ペテロさんは、ほかの十一人の弟子と共に立ち上がり、声を張り上げ、集まってきた人たちに神様の話を始めたのです。ペテロさんはこんなことを話したでしょう。

「みなさん、どうかこれから話すことをしっかりと聞いてください。ナザレ人イエスこそが、神様から遣わされたお方です。神様は、イエス様を通してたくさんの不思議なわざと見るしを見せてくださいました。耳が聞こえない人が聞こえるようになりました。また、目が見えない人は見えるようになりました。ほかにも、5つのパンと2匹の魚を祝福してそれを増やし、たくさんの人が食べられるようにしてくださいました。みなさんもすでに知っているとおりで、このイエス様を、あなたがたは十字架につけて殺してしまったのです。しかし神様は、イエス様を死の苦しみから救い、よみがえらせてくださいました。聖書に預言されていたことが、そのとおりになったのです。神様がイエス様を復活させられたのです。私たちはその証人です。」

ペテロさんは、今までは考えられなかったような、大胆にそして力強く話しを続けました。

「イエス様は天に帰られる前に、約束をして下さいました。ご自分が天にかえった後に、『聖霊を与えます』というものでした。その約束のとおり聖霊が与えられたのです。今日、みなさんは不思議なことを見たり聞いたりしてビックリしていますが、これはイエス様が約束なさったことのしるしなのです。

だから、みなさんぜひ覚えて下さい。神様が救い主として遣わされたイエス様を、あなたがたは十字架につけて殺したのです。」

## □ポイント2 ペテロさんの話しを聞いて多くの人がイエス様を受け入れました

ペテロさんの話しを聞いていた人たちは、強く心を打たれました。

そしてペテロさんや他の弟子たちに言いました。「ペテロさん、わたしたちは、どうしたらよいのですか？」

ペテロさんは彼らに言いました。「悔い改めなさい。そして、それぞれがイエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、あなたがたも聖霊を受けるでしょう。」

この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供たちにも、また遠くに住んでいるすべての人にも与えられています。」

ペテロさんは、ほかにもいろいろ話しをして、力強く証をして「この、曲がった悪い時代から救われなさい」とすすめました。ペテロさんの話しを聞いて、その言葉を受け入れイエス様を信じた人たちは、すぐに洗礼を受けました。その日だけで、三千人もの人たちが仲間に加わったのでした。

### □ポイント3 信じた人たちは日々集まって神様を賛美しました。

そして、使徒たちから聞いた教えを守り、お互いに交わりをして励まし合い、パンをさき、お祈りをしていました。みんなの心に、神様をおそれる思いが与えられました。そして十二人の使徒たちによって、多くの不思議なわざ、奇跡とされるしが行われました。

みんなは心をひとつにして、すべての持ち物も一緒に使うことにしました。また財産や持ち物を売り払って、必要に応じてみんなの人に分け与えたのでした。

彼らは毎日集まって、心をひとつにして、喜びと真心とを持って一緒に食事をしたり、神様を賛美したりしました。その様子は、本当に楽しそうで、見るすべての人に好感を持たれていました。

そんな彼らの様子を見て「私もイエス様を信じます」と言って救われる仲間が、毎日加えられていきました。

### □結論 聖霊によってエルサレムに教会が誕生しました

ペテロさんは大胆にイエス様のことを語りました。しかし、イエス様が十字架にかかる前、ペテロさんは、『イエス様のことなん知りません』と三回も言ったことがありました。イエス様と一緒にいる時、イエス様には『どんなことがあってもイエス様についていきます』とっていたにもかかわらずです。ほかの弟子たちも同じでした。しかし、聖霊がおいでになってから、ペテロさんも弟子たちも変わりました。聖霊の助けによって全く変えられたのでした。

その聖霊によってペテロの語った言葉が聞く人たちの心をとらえました。そして悔い改めへと導いたのでした。多くの仲間が加えられていくのも聖霊の働きです。信じる心は聖霊によって与えられ、その信じた人たちの集まりである教会は、聖霊によって誕生したのでした。さらに教会は聖霊によって成長し、そして拡大していくのです。

### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. みなさんは、お友達や家族にイエス様のことを伝えることを恐れてはいないでしょうか？ペテロさんたちのように大胆に語りたい。と思いませんか？いま聖霊によってイエス様のことを大胆に語るができるようにお祈りしましょう。
2. わたしたちは、毎日の生活の中で、どのくらいの時間イエス様のことを思っているでしょうか？いつもイエス様のことを思っていたいと思いませんか？聖霊によっていつもイエス様のことを思っているようお願いお祈りしましょう。
3. あなたはイエス様が自分のために十字架につけられたことを信じますか？いまイエス様に『ごめんなさい。ありがとうございます。』とお祈りをしましょう。

# 教 師 ノ ー ト

週課	第二年 第五課 第四週
単元	ペンテコステ
テーマ	イエスの御名
タイトル	美しの門での出来事
テキスト	使徒3:1-10
参照箇所	使徒4:1-10、5:15-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒3:6
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 2 巻 1 題 11 課、小下 1 巻 3 題 9 課、幼 1 巻 3 題 9 課
□ 導入	<p>イエス様がこの地上におられた時、いろいろな方法で多くの人たちを助けて下さいました。みなさんはイエス様がどんな事をなされたのか覚えていますか？</p> <p>今はもう、イエス様は天へ帰ってしまわれました。天に帰られたイエス様は、わたしたちを助けて下さるのでしょうか？</p> <p>イエス様は、いまもわたしたちを助けて下さるお方です。わたしたちが、イエス様のお名前によってお祈りをするならば、イエス様が必ず助けて下さることを覚えましょう。</p>
□ ポイント1 ペテロさんとヨハネさんは足の不自由な男の人に出会いました	<p>ある日の午後、ペテロさんとヨハネさんはエルサレムの神殿へ出かけました。いつものように午後三時のお祈りをするためです。</p> <p>すると生まれながら歩けない一人の男の人が、他の人によって連れて来られました。この人は、みんなのように歩くことも働くこともできませんでした。ですから、もう何年もの間、神殿に入る人たちからお金をもらうために「美しの門」という名の門のそばに座らせてもらっていたのです。</p> <p>ペテロさんとヨハネさんが、その人の前を通り過ぎようとする、「どうぞ、わたしをお恵み下さい」と、その男が声をかけました。</p> <p>二人は立ち止まり、男をじっと見つめました。</p>
□ ポイント2 ペテロさんはイエス様の御名によっていやしました	<p>やがて、ペテロさんが口を開きました。「私たちを見てごらん」男は何かもらえるのだろうと思って、二人を見上げました。ところが、ペテロさんは全く意外なことを言ったのです。「あなたにお金をあげようにも、わたしたちはお金を持っていないんです。でも、わたしの持っているほかのものをあげます。ナザレのイエス・キリストの名によって命じる。さあ、立って歩きなさい。」と言いました。その人は、何が何だかわからずビックリしたと思います。彼はいままで立ったことはなかったのです。</p> <p>しかし、ペテロさんはそう言うなりその人の手を取って立たせようとしてしました。すると、驚いたことに、足もくるぶしもたちまち強くなり、しっかりと立ち上がったのです。そして、歩くことが出来ました。自分でも本当に信じられないくらいです。その人は足がなごったので大喜びで「神様を賛美します。賛美します」と言って、その辺をとび上がったたり、はね回ったりしました。</p> <p>ペテロさんとヨハネさんが宮に入ると、この男の人と一緒に神殿の中まではいって行って、踊りまわりながら神様を賛美しました。</p>



### □ポイント3 ペテロさんはイエス様のことを伝えました

神殿の中にいた人たちは、神様を賛美しながら歩いている男の人を、じろじろながめました。そして、この男の人がいつも「美しの門」で見かける、足の不自由な人であることに気がついたのです。本当に驚きです。

そこで人々は、何が起こったのかを見るために、三人のいる「ソロモンの廊」と呼ばれる回廊に押し寄せてきました。

ペテロさんはこの様子を見て、人々に言いました。「あなたがたはどうして、この人がいやされたことに驚くのですか。また、なぜ私たちがこの人を歩かせたかのように、私たちを見つめるのですか。この人をいやしたのはわたしたちではありません。あなたがたが十字架にかけて殺したイエスを信じる信仰がこの人をいやしたのです」。

ペテロさんはさらに話し続けました。

「愛する皆さん。みなさんはイエス様のことを何も知らなかったのでしょうか。知らなかったからこそ、イエス様をあんな目に会わせたのでしょうか。それは、指導者の人たちにも言えることです。

ですから、どうか悔い改めて心を入れかえ、神様に立ち返りなさい。そうすれば、神様は罪をきよめてくださいます。イエス様は、私たちの罪の身代わりとなって十字架にかかってくださった救い主なのです。このことは神様がご計画なされたことで、預言者が伝えてきたことです。」

ペテロさんとヨハネさんが、集まって来た大勢の群衆にお話している時、祭司や神殿の警備隊長たちがやって来ました。その人たちはペテロさんが人々にしている話を喜びませんでした。ペテロさんがイエス様のお話をすることをきらっていたからです。彼らはペテロさんたちが話しをすることをやめさせました。

しかし、二人の話を聞いた大勢の人たちがイエス様を信じて救われました。男の人だけで五千人にもなりました。

### □結論 イエス様の御名で祈る時 力が与えられます

#### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. ペテロさんとヨハネさんは、イエス様のお名前によってお祈りし、足の不自由な人を立たせて歩かせました。ペテロさんとヨハネさんにいやす力があつたわけではありません。イエス様のお名前によってお祈りした時、イエス様が力を与えて下さり、足の不自由な人を立たせることができたのです。みなさんも困った時、苦しい時、イエス様の名によってお祈りするならば、力が与えられ、助けて頂けます。いま一緒にお祈りをしましょう。
2. みなさんは、願い事がありますか？そんな時どうやってお祈りをしていますか？イエス様のお名前でお祈りすることを覚えましょう。ただ、でたらめにお祈りをするのではなく、まず『天にいます神様』と呼びかけ、そのあと自由に神様にお話してみましょ。最後に『このお祈りを、イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン』と。

それでは、一緒にお祈りしてみましょ。

# 教師ノート

週課	第二年 第五課 第五週
単元	ペンテコステ
テーマ	人間の限界を超える力を与える聖霊
タイトル	異邦人コルネリオの救い
テキスト	使徒 10:1-48
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ルカ 18:27 or ガラテヤ 5:22-23
AG 日曜学校教案参照箇所	小学下級1巻―主題3―12課、中学科2巻―主題4―2課、幼稚科1巻―主題1―8課
□導入	<p>走るの好きですか？陸上の世界では長い間100mを9秒台で走るの理論的に無理だと考えられていたそうです。そして実際にそのような記録は出ませんでした。しかしそのような考えを気にせず「できる」と信じる男が現れました。そして彼は本当に9秒台の記録を出したのです。さらに興味深いことは、その後続々と9秒台をマークする選手が現れたということです。「できない」と決めつけていることはありませんか？神様はあなたが思う以上に偉大なお方です。神様にできないことはありません。</p>
□ポイント1 神様は異邦人コルネリオに幻の中で語られました	<p>カイザリヤという港町にコルネリオという人がいました。コルネリオはローマの兵隊の百人隊長をしている人でした。コルネリオはユダヤ人が差別をしていた異邦人でしたが、ユダヤ人の信じている神様のことをよく理解していて、自分も神様を受け入れ敬っていました。そして、ユダヤ人と同じようにたくさんの施しをし、いつも神様にお祈りをしていました。</p> <p>そんなある日午後三時ごろコルネリオがいつものようにお祈りをしていると、幻の中で神様のみ使いをみたのです。天使はコルネリオに言いました「コルネリオよ。」「はい、なんでしょうか」「あなたのお祈りと神様のための良い働きは神様にきちんと覚えられています。さあ、今ヨッパというところに人を遣わしてシモンという人を招きなさい。この人はペテロとも呼ばれています。この人は皮なめしのシモンという人の家に泊まっていますが、その家は海辺にあります」そこで、コルネリオはみ使いに言われたとおり、しもべたちにこのことを話してから彼らをヨッパに送り出しました。</p>
☞「カイザリヤ」…地中海に面した交通要所の重要な港。ローマから派遣された総督が駐在した。	
☞「百人隊長」…百人の兵士を統率している隊長。下士官に相当する。	
☞「敬虔な人」…異邦人がユダヤ教徒になるためにはユダヤ教教理を受け入れること、宗教的慣習を守ること、男子は割礼を受けることが必要であった。しかし、割礼を受けることは異邦人には抵抗があり、他の点ではユダヤ教を受け入れながら、割礼を受けていない異邦人がいた。このような異邦人をユダヤ教の観点から「敬虔な人」と呼んだ。当時離散するユダヤ人(ディアスポラ)社会はこのような賛同者を多く得ていたようである。	
☞「午後三時」…ユダヤ教徒の夕方の祈りの時。(参照:使徒3:8)	
☞「皮なめし」…動物の死体に触れるので汚れた職業とされていた。キリストの弟子ペテロがこのような人の家に泊まっていたということは、彼がユダヤの社会的偏見や習慣に拘束されていないことを表しているといえる。	

## □ポイント2 神様はペテロにも幻の中で語られました

翌日、コルネリオからの使者が町の近くまでやって来た屋の12時頃、ペテロは祈るために屋上に上りました。すると、ペテロはとてもお腹が空いて食事をしたくなりました。そして食事の用意がされている間にうっとり夢心地になったのです。すると、幻の中で天から大きな大きな布の様な入れ物に入れられてたくさんの動物、地を這う生き物、空の鳥が降りてきたのです。

ペテロはびっくりしました。すると、天から声が聞こえてきました「ペテロよ。さあ、これらのものをほふって食べなさい」「神様、それはできません。私はまだ一度も律法できよくないとされた物や汚れた物を食べたことはありません」すると再び天から声がありました。「神様がきよめた物をきよくないと言ってはいけません」そして、同じようなことが三度あってから入れ物はすぐに天に引き上げられていったのです。

- ☞「きよくない物や汚れた物」…旧約の律法にはある種の動物は汚れているので食べてはならないという規定がある。それは宗教的な意味においてはあがあるが、ユダヤ人は決して汚れた物を食べることはなかった。しかし、イエス・キリストはどんな食物も人を汚すことはできないと言われた(マルコ7:18,19)。食物の規定は旧約時代のものであり、キリストの贖いにより新約時代には汚れた物も神によってきよめられたのである。このことは食物の規定ばかりではなく、民族的、人種的にも適用される。それがこの幻の示すところである。

## □ポイント3 聖霊はペテロを異邦人コルネリオのところへ遣わされました

ペテロが今見た幻の意味は一体何だろうと思いつめがらしていると、聖霊がペテロに語られました。「見なさい、三人の人があなたを訪ねてきています。ためらうことなく一緒に行きなさい。わたしが彼らを遣わしたのです。」そして、コルネリオの使いたちはペテロに事の次第を話しました。そしてペテロは彼らと一緒にカイザリヤに同行しコルネリオと出会ったのです。そこには家族や親しい友人たちもいました。ペテロはコルネリオから話を聞くとこれは神様から出たことであることがはっきりとわかりました。そしてコルネリオとそこにいた人々の前で言いました。「私は今はっきりとわかりました。神様はユダヤ人も異邦人もなく、どこの国の人であってもどんな人であっても、神様を信じる人を受け入れてくださるのです。十字架にかかれ、三日目によみがえられたイエス様こそ私たちの罪からの救い主です」ペテロは大胆にイエス様を証しました。

すると、ペテロがまだ話しているうちにみ言葉を聞いていたすべての人の上に聖霊が臨まれました。ペテロと一緒にきた弟子たちも驚きました。異邦人の上にも聖霊が臨まれ彼らが異言を話し、神様を賛美するのを聞いたからです。そしてコルネリオもそこにいた人々もみなイエス様を信じるバプテスマを受けたのでした。

## □結論 聖霊は人の考えや限界を超える力を持っておられるお方です

### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. 聖霊はペテロを通して異邦人であったコルネリオにも神様の福音を伝えるように導かれました。ユダヤ人は異邦人は神様の祝福を受けることはできないと考えていましたが、聖霊によってユダヤ人と異邦人との間にあった厚い壁は取り除かれました。こうして福音はエルサレムから始まり、ユダヤ、サマリヤの全土、さらに地の果てまで聖霊の力によって大きく広まっていきました。あなたは人の考えで無理だろうと限界をつくっていることはありませんか？神様の力は無限大です！
2. 愛せない人、この人とはうまくできないと自分で壁を造ってしまっている人はいませんか？決して超えることはないと思われたユダヤ人と異邦人の壁は聖霊の力によって打ち破られました。聖霊による愛の力をいただきたいと思いませんか？愛は聖霊が結ばせる実です。聖霊の力と導きを祈り求めませんか？